

山形県経済動向月例報告

(令和2年2月の経済指標を中心として)

令和2年4月28日

本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、足もとでは悪化している。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは悪化している。
鉱工業生産は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは弱い動きがみられる。

雇用情勢は、引き続き高い水準を維持しているものの、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響がみられ始めている。

※当報告に掲載している経済指標は令和2年2月分を中心としたものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響による県内経済の厳しい状況を踏まえ、今回の判断については、聞き取り等により把握した4月時点の足もとの経済動向を踏まえた表現でまとめている。(なお、個別項目の説明(1～2ページ)の中で、同感染症の影響を受けての最近の状況について記載している。)

目次

	ページ
I 山形県の経済動向	1
II 全国の経済動向	3
III 東北の経済動向	3
IV 各種経済指標	
第1-1表 百貨店・スーパー(2業態)販売額、6業態合計販売額	4
第1-2表 コンビニエンスストア等4業態販売額	5
第2表 新車登録届出台数	6
第3表 新設住宅着工戸数	7
第4表 鉱工業生産・在庫・出荷指数	8
第5表 山形県主要業種別生産指数	9
第6表 山形県主要業種別在庫指数	10
第7表 新規・有効求人倍率	11
第8表 賃金・労働時間・雇用指数	12
第9表 企業倒産	13
第10表 消費者物価指数	14
第11表 公共工事請負金額	15
(参考) 山形県その他の経済指標	16
全国その他の経済指標	17

利用上の注意

- ・ 山形県経済動向月例報告は、各種経済指標をもとに、本県経済の状況をまとめたものです。
- ・ 数字の単位未満は、原則として四捨五入しています。
- ・ 指標の中には速報値を使用しているものがあり、翌月に確定値に遡及して変更する場合があります。また、季節調整等により数値が改定される場合や公表数値が不定期に訂正される場合があります。
- ・ 各種経済指標は、官公庁、団体、会社等の業務資料及び当該機関の刊行した統計資料等によるものです。
- ・ この報告の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/>

(ホーム>目的でさがす>統計情報・オープンデータ>統計情報)





- ・ この報告の内容についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

山形県みらい企画創造部統計企画課政策統計担当

TEL 023-630-2180 FAX 023-630-2185

先月との比較

	3月	判断の 変化方向※	4月
総括判断	本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、足もとでは弱い動きがみられる。		本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、足もとでは悪化している。
個人消費	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは弱い動きがみられる。		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは悪化している。
鉱工業生産	鉱工業生産は、このところ足踏みをしている。		鉱工業生産は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは弱い動きがみられる。
雇用情勢	雇用情勢は、引き続き改善している。		雇用情勢は、引き続き高い水準を維持しているものの、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響がみられ始めている。

※矢印は基本的な傾向の変化を表しています。

I 山形県の経済動向

概況

本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、足もとでは悪化している。

判断の変化方向

前月比



判断の変化方向

前月比



◎ 個人消費 … 新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは悪化している。

- 百貨店・スーパー（2業態）販売額は、全店舗ベースで5か月連続で前年を下回ったが、既存店ベースでは3か月ぶりに前年を上回った。また、コンビニエンスストア等4業態合計販売額は、2か月連続で前年を上回った。新車登録届出台数は、6か月連続で前年を下回った。
なお、最近の状況を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響により、幅広い業種で消費の減少がみられるなど、厳しい状況となっている。

- ・百貨店・スーパー（2業態）販売額
R2.2月（全店舗） 10,619百万円
前年比（全店舗）△1.4%
（既存店） 3.7%

- ・コンビニエンスストア等4業態合計販売額
R2.2月（全店舗） 15,289百万円
前年比（全店舗） 9.4%

（参考）

6業態合計販売額は、2か月連続で前年を上回った。（第1-1表参照）

R2.2月（全店舗） 25,908百万円
前年比（全店舗） 4.7%

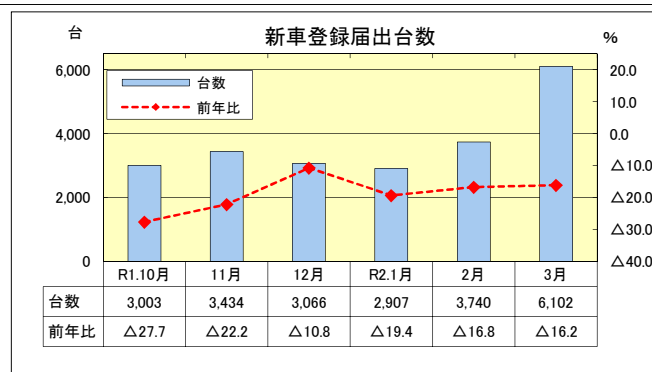
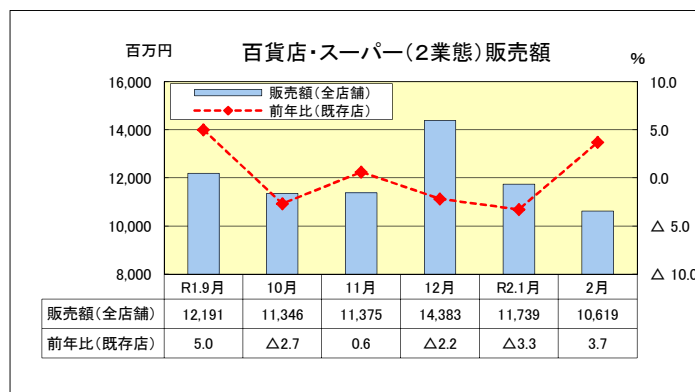
- ・乗用車（軽を含む）の新車登録届出台数
R2.3月 6,102台（前年比 △16.2%）

車種別

普通乗用車 1,483台（前年比 △24.2%）

小型乗用車 1,878台（前年比 △11.5%）

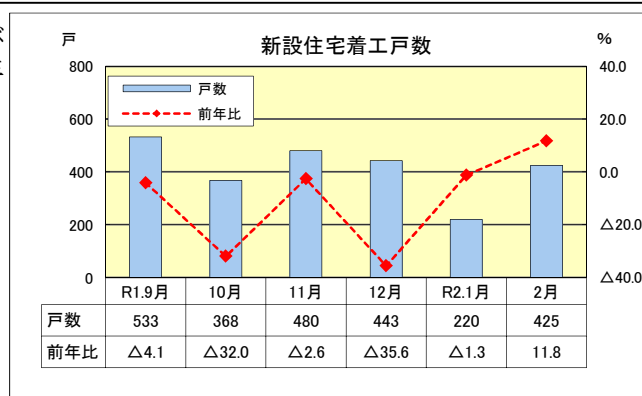
軽自動車 2,741台（前年比 △14.5%）



○ 住宅建設 … 前年の水準を上回った。

- 住宅建設は、分譲住宅は減少したが、持家及び貸家が増加したため、全体では8か月ぶりに前年の水準を上回った。

- ・新設住宅着工戸数
R2.2月 総戸数 425戸（前年比 11.8%）
利用関係別（主なもの）
持家 209戸（前年比 18.8%）
貸家 158戸（前年比 19.7%）
分譲住宅 57戸（前年比 △20.8%）



◎ 鉱工業生産 … 新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは弱い動きがみられる。

判断の変化方向

前月比

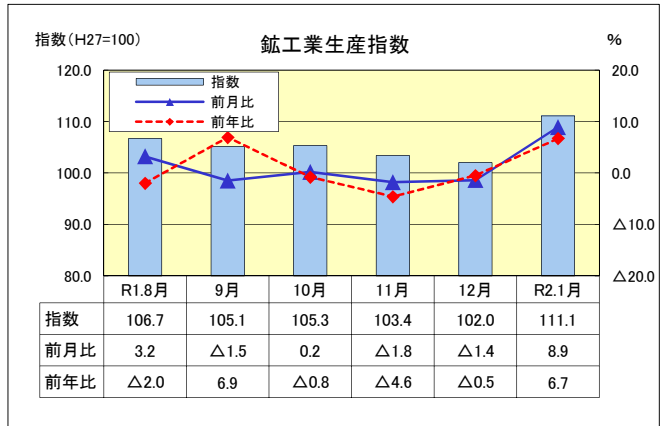


- 鉱工業生産指数（季節調整済）は、汎用・生産用・業務用機械工業や電子部品・デバイス工業などの生産が増加したことから、前月比で8.9%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。また、前年比（原指数）でも6.7%上昇し、4か月ぶりに前年を上回った。
なお、最近の状況を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響により、生産活動が停滞したり、受注が減少したりする企業が出てきている。

- ・鉱工業生産指数（R2.1月）
季節調整済指数 111.1（前月比 8.9%） 原指数 102.0（前年比 6.7%）
業種別（前月比） 上昇：汎用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業など16業種
低下：家具工業、パルプ・紙・紙加工品工業など6業種

主な業種の生産指数

	前月比	前年比
電子部品・デバイス工業	111.1(8.7%)	11.1%)
汎用・生産用・業務用機械工業	111.6(52.7%)	△ 6.1%)
食料品工業	102.4(2.5%)	2.4%)
情報通信機械工業	196.9(9.6%)	123.4%)
輸送機械工業	110.2(1.8%)	△ 0.6%)
化学工業	109.6(1.8%)	△14.7%)
電気機械工業	100.2(1.0%)	3.7%)



◎ 雇用情勢 … 引き続き高い水準を維持しているものの、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響がみられ始めている。

判断の変化方向

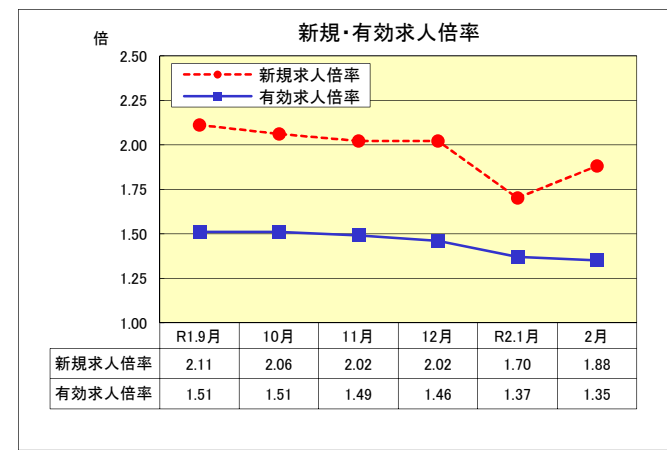


○ 有効求人倍率（季節調整値）は、前月を0.02ポイント下回り1.35倍となった。

なお、最近の状況を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の業種において求人の取消しや求人数の削減、解雇などの動きが出てきている。

・雇用情勢（R2.2月）

有効求人倍率	1.35倍	(前月比 △0.02倍)
〃（正社員）	0.97倍	(前年比 △0.17倍)
新規求人倍率	1.88倍	(前月比 0.18倍)

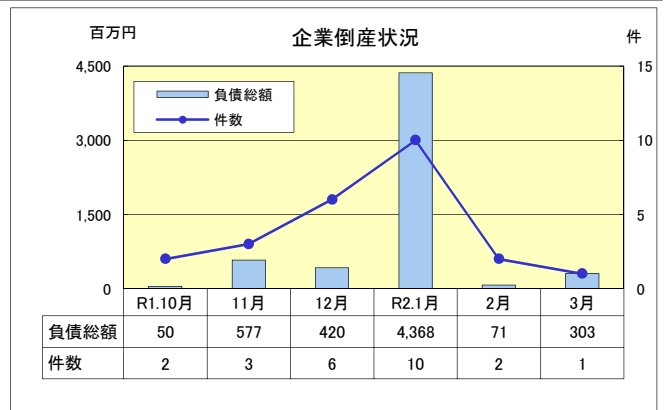


○ 企業倒産 … 件数及び負債総額ともに前年を下回った。

○ 企業倒産は、件数及び負債総額ともに、前年を下回った。

・企業倒産状況

(R2.3月、負債総額1千万円以上)	
件数	1件 (前年比 △85.7%)
負債総額	3億300万円 (前年比 △64.6%)

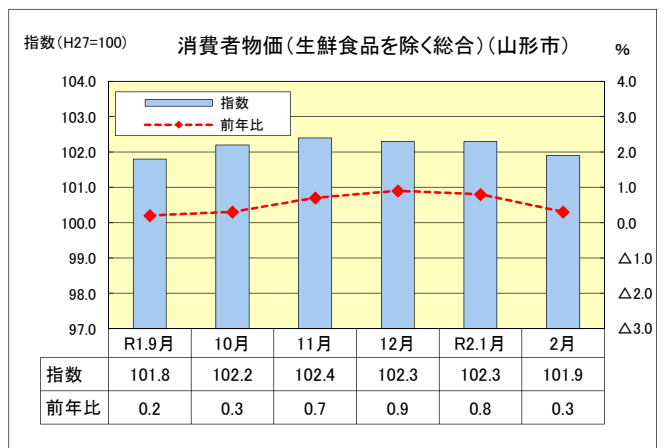


○ 物価 … 前年の水準を上回った。

○ 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年の水準を上回った。

・消費者物価指数（R2.2月、山形市）

総合指数	102.0	(前年比 0.5%、前月比 △0.4%)
生鮮食品を除く総合指数	101.9	(前年比 0.3%、前月比 △0.3%)
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数	101.4	(前年比 0.2%、前月比 △0.3%)



(注) 前年比とは前年同月比のことである。

II 全国の経済動向（内閣府 月例経済報告 令和2年4月23日）

（我が国経済の基調判断）

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・個人消費は、感染症の影響により、急速に減少している。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、感染症の影響により、このところ減少している。
- ・生産は、感染症の影響により、減少している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。企業の業況判断は、感染症の影響により、急速に悪化している。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、足下では弱い動きがみられる。
- ・消費者物価は、このところ横ばいとなっている。

先行きについては、感染症の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

III 東北の経済動向（東北経済産業局 管内の経済動向 令和2年4月16日）

足踏み状態となっている

鉱工業生産：このところ弱含んでいる

個人消費：足踏み状態となっている

住宅着工：高水準にあるが、減少している

公共投資：復興事業により高水準にあるが、このところ減少している

設備投資：横ばいとなっている

雇用：改善している

企業倒産：小康状態が続いている